

スピード女子 団体追い抜き

日本銀



優勝ドイツに0秒02差

スピードスケート女子団体追い抜きで2位となり、笑顔で銀メダルを手にする(左から)田畑真紀、小平奈緒、穂積雅子の3選手=27日、五輪オーバル(共同)

★スピードスケート 女子団体追い抜き

※丸数字は今季のW杯ランキング

③日本	タイム差		
⑥韓国	4秒56		
②ロシア	0秒19		
⑨ポーランド	1秒96		
④ドイツ	0秒02	ドイツ	
⑤オランダ	1秒43		
①カナダ	0秒23		
⑦米国	0秒05		
3位 決定戦	ポーランド	1秒57	ポーランド
	米国		

【バンクーバー共同】
バンクーバー冬季五輪第16日の27日(日本時間28日)、3人1組で滑るスピードスケート女子団体追い抜きで日本が銀メダルを獲得した。穂積雅子(23)、田畑真紀(35)ともにダイイチ、小平奈緒(23)は相沢病院の日本3選手は準決勝でポーランドに競り勝ったが、決勝ではドイツに0秒02差で惜敗した。

日本のスピードスケート女子の2位は過去最高成績。1992年アルベールビル五輪1500メートルの橋本聖子さん、94年リレハンメル五輪5000メートルの山本宏美さん、98年長野五輪5000メートルの岡崎朋美選手(富士急)の銅メダルがこれまで最高だった。

今大会の日本のメダルはスピードスケート男子5000メートルの長島圭一郎選手の銀、加藤条治選手の銅(ともに日本電産サンキョー)、フィギュアスケート男子の高橋大輔選手(関大大学院)の銅、同女子の浅田真央選手(中京大)の銀に続いて5個目。

